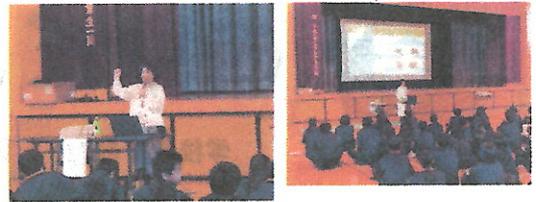


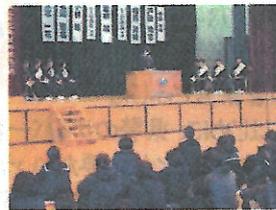
がん教育

12月11日(木)5校時に体育館にて3年生を対象に「命の大切さを考える授業 ～体験談から考えるがんのこと、がん予防について～」と題して講演会が開催されました。がん教育は正しい知識を学び、がんを予防するために自分たちができることを考え、「いのち」の大切さや身近ながん患者に対する思いやりの気持ちを育成するために重要です。はじめに講師の先生ががんと診断された当時のこと、続いてがんについての正しい知識、最後にがん予防についてのお話しでした。早期発見早期治療で5年相対生存率は90%ほどにあがるとのこと、過度のたばこやお酒は良くないこと、バランスのいい食事をとることなど生活習慣を見直すことが、がん予防に繋がるということも知ることができました。15歳の3年生にとっては、いつまでも健康に生活するために参考になるとても大切な授業でした。



生徒会役員選挙

12月に入ると、朝の生徒玄関前や教室訪問などで生徒会役員選挙運動が始まりました。どの候補者もやる気に満ちあふれ、応援する生徒も元気な声で候補者の名前をアピールし、投票をお願いしていました。



今年度の3年生が作った生徒会は素晴らしいものでした。来年度の生徒会も先輩方が築きあげたものを引き継ぎ、さらに発展させてくれると感ずることができる選挙運動でした。そして、12月12日(金)5校時に体育館で「令和8年度生徒会役員選挙立会演説会」、続いて6校時に「投票」が行われました。立会演説会では、会長候補、男子副会長候補、女子副会長候補の順に演説を行いました。誇れる西中作り、ブロック活動の活発化、行事や日常生活に関することなど、どの候補者も西中をより良い学校にしたいという強い決意を話してくれました。話の内容はもちろんですが演説の態度も超一流でした。

子どもBOUSAI教育 一こうふー

甲府市役所の地域防災課から5名の講師の方に来ていただき、12月18日(木)青雲館にて2年生を対象に「子どもBOUSAI教育 一こうふー」がおこなわれました。1, 2, 5, 6校時に分けてクラスごとに1時間説明を受け、体験をしました。担架でケガ人の運び方の体験やトイレや授乳用のテントの見学など実際に災害に遭ったときに役立つことでした。西中学校が避難所になった場合、中学生は「避難所の運営を支える大切な担い手」です。特別なスキルがなくても、清掃・物資運搬・高齢者支援など、できることはたくさんあります。災害が起こったとき、「自分なら何ができるか」を考えておくと、いざという時に大きな力になります。避難所開設時にどんなことが必要かを知ることができ、貴重な1時間となりました。



グラウンド改修工事

グラウンドの改修工事は順調に進行しています。校庭やテニスコートに排水シートを敷きその上に砂利を敷き詰めました。現在は砂利の上に土を入れています。トラックが1日に何回も土を運んできます。土を入れれば完成のように思いますが、これから一時間も二時間もかかるそうです。土を混ぜたり固めたり、表面に違う土を敷いたり…などの作業もあるようです。とは言え、順調に新しいグラウンドとテニスコートの工事が完成に向けて着々と進んでいます。完成が楽しみです。

グラウンドが使えないので、体育は安全に気をつけながら体育館や荒川のサイクリングロードを利用しておこなっています。

